

医療法人済恵会 広報誌  
オアシス69号

広報誌オアシス 制作 広報委員会  
〒379-0116 群馬県安中市安中3532-5  
Tel (027) 382-3131 FAX (027) 382-6568

# 残暑お見舞い申し上げます

連日猛暑が続いております。皆様夏バテなどありませんでしょうか？熱中症により救急搬送される患者さんの話題がつきませんが、ここで熱中症について簡単に解説いたします。

熱中症はただ体内の水分や塩分が失われることが原因ではありません。その前に脱水症という状態が起こります。この時点で単に水分が欠乏している状態と、水分とともに塩分が不足している高張性脱水症にわけられます。ここまでは人間の細胞外での出来事ですが、熱中症となると水分・塩分の喪失が細胞内でも起こり、人間の体を構成している様々な細胞、つまりは肝細胞・脳細胞・腎細胞・筋肉細胞などすべての細胞に障害が起こってくるような状態となります。この状態まで進んでしまうと、単に点滴をしても血管内には水分が入っていきませんが、細胞内までに水分・塩分が入っていくには時間がかかり、細胞壁まで壊れてしまうと水分も塩分も入っていかない状態となってしまいます。このため重症の熱中症では肝臓・腎臓・心臓・筋肉などが多臓器不全状態となり死に至るのです。

暑い中無理をしないこと、それと同時に暑さに少しずつ慣れていくことも大事です。今この原稿を30℃の室内で書いておりますが、部屋の外は38℃近くになっています。30℃といっても非常に涼しく感じます。人間の体はそんなに弱いものではありません。冷房内だけでなく少しは暑さに慣れることをやってみたらいいと思います。もう少しで9月となり、これからだんだんと涼しくな

るでしょう。でも年を重ねるにしたがい去りゆく夏が、いとおしく、さびしく感じるようになりました。それだけ冬の寒さにも弱くなったのかもしれませんが。

新しい話題をひとつ提供いたします。7月1日より安中市松井田にあります介護付有料老人ホーム【ななかまど】が当院の関連施設となりました。ななかまどは介護が必要な方が対象で、介護保険を使用した生活全般の援助、また居室はすべて個室ですのでプライバシーのある生活を送って頂き、食事・入浴などは施設で提供するものです。

7月より当院の理学療法士を派遣し、少しでも入所者の生活機能の保持を図れるよう努力しています。須藤病院がついておりますので、緊急時の24時間対応や、日常診療も安心して受けて頂けます。

今年に入り当院の関連施設として6月にデイサービスセンターさくら、7月にななかまどが新たに仲間に加われました。地域包括ケアシステムという考え方が厚生労働省により構築・推進されております。患者様に須藤病院を軸とし、めぐみ・さくら・ジョリエやなせ・ななかまど、さらには在宅で安心して生活できるよう職員一同頑張っておりますのでよろしくお願い致します。

病院長  
須藤 英仁



# 介護付有料老人ホーム ななかまど



【介護付有料老人ホーム**ななかまど**】は平成23年3月に開所された施設です。

**ななかまど**という木はやや高地の山に育ち、7月に白色の小さな花が固まりとなって群がり咲き、秋には真赤な実をつけます。また、7度かまどに入れても燃えないという事から、開設者は入居者の方々がこの施設の中でいつまでも元気に生活して欲しいと願い、この名前に決めたと聞いております。

施設所在地は安中市内より約200m高所に位置し、近くに「ろうばいの郷」があり、花が咲く頃には“ろうばいの香り”も運ばれてきます。妙義山や浅間山を眺めながら四季折々の自然の美しさに触れられる散歩コースも整備され、入居者の皆様には大変喜ばれております。郊外ならではの癒しがここにはあると思います。

その反面、病院受診等の外出には多少の不便を感じることもありますが、今年7月より須藤病院グループに加わることとなり、医療面での連携強化が図れたことは本当に心強く感じております。

**ななかまど**には居室が40室あり、現在はほぼ満室状態となっております。入居者の平均年齢は90歳で、最高齢の方は99歳ですが食事は自力で摂取できるほど元気でお過ごしです。ご家族も頻繁に来所され和やかに談話している姿をお見かけすると、職員も幸せな気持ちにさせて貰いとても癒されます。施設の平均の介護度は2であり、全介助を要する入居者は現在のところおりません。

**ななかまど**の職員は厨房職員も含め施設長を筆頭に36名が勤務しています。勤務時間は各々あり、かなり変則的ですが夜勤は2交代制で行っています。7月から新体制となり現状の見直しや改善が必要と考えられる事項もありました。

今後は職員全員での話し合いの機会を出来る限り持ち、入居者のみなさまが「**ななかまど**に入居して良かった」と言って頂けるような施設になるよう、職員一同で努力し頑張っております。

看護責任者 内田 たき子



1



3



5



2



4

1:菅根理学療法士が訪問して  
行う本格的なリハビリ

2:食堂

3,4,5:緑あふれる散歩コース

# デイサービスさくら

## ～開設より3ヶ月経過して～

## さくら相談員 高橋 美子



築瀬にデイサービスさくらがオープンして3ヶ月目となりました。おかげさまで今月は毎日20名を超えるご利用者様にご利用していただいています。今回はさくらの様子を紹介させていただきます。

さくらの最大の特徴としては、安中市内のデイサービスとしては唯一、資格を持ったリハビリスタッフによる機能訓練が行えるという事です。ご利用者様は筋力トレーニングや、日常生活動作がスムーズに行えるようリハビリメニューに日々取り組まれています。

もう一つのさくらの特徴としては、スタッフが中心となり、時にはご利用者様にも参加していただき、おやつ作りを行っています。また食事に関しても食器にこだわり、見た目にも美味しそうと、おやつとともに好評です。また、行事としては、6月はヤオコーへの買い物ツアー、7月はバーベキューを行い、さくらミニ農園で収穫した、とうもろこし等を焼いてご利用者様に召し上がっていただきました。8月24日には納涼祭を予定しています。

さくらもスタートしたばかりで、毎日が試行錯誤の連続ですが、ご利用者様に楽しかつ

た、また来たいと言ってもらえるような施設にしていきたいと考えています。

これからもご利用者様・ご家族様からのご意見ご要望を伺いながら職員一同頑張っていきたいと思っております。ご利用相談もお待ちしておりますのでよろしくお願い致します。



BBQなど趣向を凝らしたイベントを今後も企画しております。(上：職員による炭焼き 下：利用者様自らがホットプレートによる調理)



見た目に配慮し、食器・盛り付けにもこだわりました



時には院長とのデュエットも



支援相談員  
新井 寛之

今年の4月より介護老人保健施設めぐみの支援相談員を任命されました新井寛之でございます。以前は、通所リハビリテーションの担当をさせていただいておりましたが心を新たに相談員として全力を尽くしたいと思えます。何分初めての事ばかりで、いろいろとご指導いただくこともあるかと存じますが、どうぞよろしく願いいたします。さて、今後のめぐみの予定を一部ご紹介させていただきます。例年、恒例となりましためぐみのお祭りですが今年は10月19日の土曜日を予定して

おります。毎年たくさんのご家族様にお越しいただいておりますが、ご利用者様に楽しんでいただきいつもと違った雰囲気の中でご家族様との交流の場になればと考えておりますのでお誘い合わせのうえ奮ってご参加ください。職員一同、皆様に楽しんでいただける様に準備しお待ちしております。今後とも介護老人保健施設めぐみをよろしくお願い致します。

### 療養病棟 介護士 須藤 誠

療養病棟では今年患者様と一緒にミニメロンを植え無事に収穫できました。又、ちぎり絵を行える患者様には参加して頂き、素晴らしい作品ができあがりしました。浦島太郎を制作した患者様談「リハビリにもなるし〜、集中して作るのいい具合に疲れて、よく眠れるようになったんよ。なにより、暇つぶしにもなるかんね〜。(´u´)」とのことです。興味のある方はどうぞ2階療養病棟にご覧にいらして下さい。

